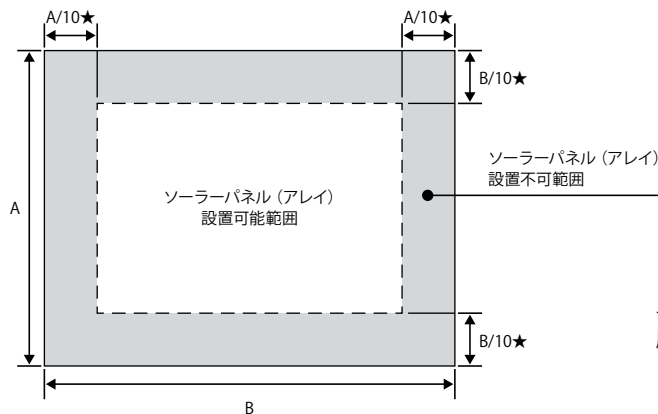


ソーラーパネル設置可能範囲

屋根設置について (ソーラーパネル設置可能範囲)

設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配) : 0° 以上 10° 未満

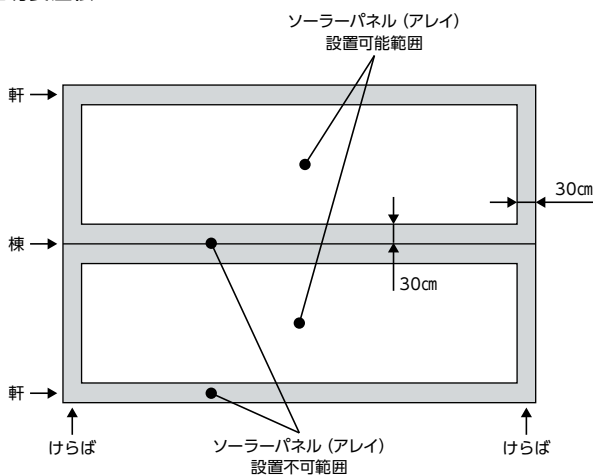


★の値が2mを超える場合は、2mとする。
屋根端部はパラペットの外側 (外壁外側)

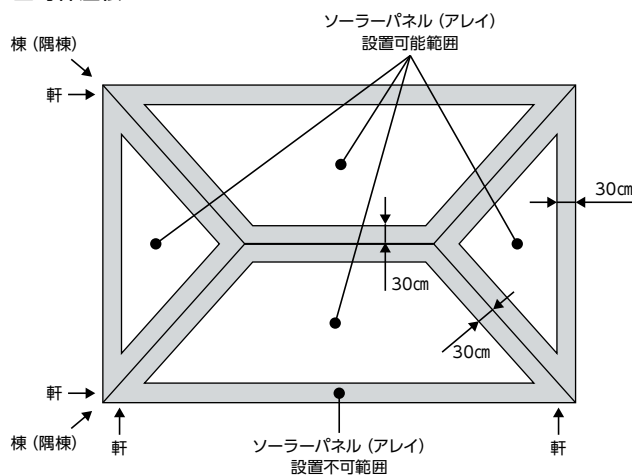
①アレイ (ソーラーパネルおよび金具・架台) を上記の設置対象屋根 (建物) の屋根周辺部 (外周のこと。屋根端部からそれぞれ辺長の10%以内の範囲とする。ただし、辺長の10%が2mを超える場合は2mとする。) へ陸屋根設置で設置する場合は、JIS C8955:2017の適用外です。

設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配) : 10° 以上 40° 以下

■切妻屋根



■寄棟屋根



①上記の設置 (傾斜) 角度内で、アレイ (ソーラーパネルおよび金具・架台) を、上記の設置対象屋根 (建物) の屋根周辺部 (軒・げばらおよび棟から30cm以内の範囲) へ屋根置き形 (勾配屋根設置) で設置する場合は、JIS C 8955:2017の適応範囲外です。

②以下のような寄棟屋根へのソーラーパネルの設置の場合は、この設置条件の対象外です。別途、お問い合わせください。
・屋根表面とソーラーパネル下面との最大距離dがd>50mmとなる寄棟屋根の端部ソーラーパネルを設置する場合

■: 端部モジュール
寄棟屋根の端部ソーラーパネル

